

2017年2月22日

障がい者の成人式報告資料（別紙）

2017年2月19日（日）に荒川区民会館「サンパール荒川」において障がい者の成人式「想い出の成人式」が開催されました。

この成人式は東京荒川ライオンズクラブが主催し、2017年で12回目の開催となります。

●なぜ障がい者の成人式をおこなうのか？

この成人式の開催目的は、障がい者の方にとって人生で主役になれる大切な日になってもらうためです。

また障がい者の成人式アクティビティを開催するきっかけは、障がい者が健常者と同じ成人式の参加を拒むため、別の日程で障がい者だけの成人式をおこなうようになったことです。

障がい者は健常者と同じ成人式に出席することが気持ち的に嫌がる傾向にあります。

障がい者はハンデがありますので、健常者から偏見な目で見られたり、傷つくようなことを言われたりするのを恐れています。

そこで障がい者のみの成人式をおこなうようになり、毎年このアクティビティには成人を迎えた障がい者に参加していただける方々が増えてきました。

参加者が増えた要因はアクティビティの良さが口コミで広がったと推察します。

●障がい者に参加を集める方法

障がい者アクティビティをライオンズクラブで新規に初めようと思っても障がい者は集まってもらえません。

そこで障がい者に集まっていただくために強い味方となるのが各地域の**社会福祉協議会**となります。

社会福祉協議会には何度も足を運んで信頼を築き、アクティビティの詳細を詰めていく必要があります。社会福祉協議会とライオンズクラブの絆が大切となります。

クラブアクティビティ活性化プロジェクト(CAP)委員会

障がい者の個人情報（氏名、住所、連絡先など）はライオンズクラブで入手することができませんので、社会福祉協議会の協力を得る必要があります。

アクティビティの内容についてご紹介します。

●記念品

成人を迎えた障がい者へ向けて東京都荒川区の西川 太一郎区長より記念品が贈呈されました。



記念品は健常者の成人式にも寄贈された「名刺入れ」と同じ物です。

この名刺入れは「平成 29 年成人の日のつどい実行委員会」が選定したものとなります。

記念品は西川区長の手から障がい者へ贈呈されました。

●来賓挨拶

来賓の皆様から成人の方々と親御様に向けて温かい挨拶がありました。

	
<p>荒川区 西川太郎 区長</p>	<p>ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区 L 細川 孝雄 第1副地区ガバナー</p>


<p>東京荒川ライオンズクラブ L 北城 貞治 会長</p>

●次第

●生い立ちの紹介

障がい者の生い立ちをエレクトーンの伴奏に乗せてスライドショーで紹介しました。



●デザートタイム

苺の大きなショートケーキと美味しい紅茶でティータイムを楽しみました。



●参加者から激励のメッセージ

成人の方々に向けて参加者の皆様から温かい激励のメッセージをいただきました。



●ダンスと合唱

障がい者の先輩方は「恋ダンス」を踊り、「世界に一つの花」を合唱しました。



●お父さん・お母さんへ御礼の花束贈呈

障がい者から親御さんへ花束が贈呈されました。

ある障がい者の成人は、うまく伝えられないけれど何度も「ありがとう」「ありがとう」

と言ってお父さんに感謝の気持ちを伝えていました。

このアクティビティは成人のお祝いでもあるけれど、ここまで育ててきたお父さんとお母さんの努力と涙の結晶を労う日であったようにも感じました。



●編集後記

クラブアクティビティ活性化プロジェクト（CAP）委員会では東京荒川ライオンズクラブの「思い出の成人式」を支援しました。



社会福祉・障がい者支援委員会のL竹花秀勝委員長にも参加いただき、「思い出の成人式」を成功に収めることができました。



皆様のクラブアクティビティの参考となるよう、これからも情報発信していきます。

以上

クラブアクティビティ活性化プロジェクト（CAP）委員会
副委員長 L関 飛雄一